

授業科目	老年看護学方法論Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数 30 時間
		◎	2 年次前期	1	講義	講師
到達目標	1.高齢者に特有な疾患・症候・障害に応じた看護の方法を理解する。 2.受療形態に応じた高齢者への看護を理解する。 3.治療を受ける高齢者への看護を理解する。					摂食・嚥下障害看護 認定看護師 精神科看護師 看護師① 看護師②
授業計画						
1 回	摂食・嚥下障害 1)加齢による病態と要因 2)摂食・嚥下障害に関するアセスメント 3)予防と援助					摂食・嚥下障害 看護認定看護師 (2 時間)
2 回	認知症 1)加齢による病態と要因 2)認知症の症状 3)認知機能の評価 4)予防治療、療法的アプローチ 5)認知症高齢者とのコミュニケーション方法と療養環境の調整 6)家族への支援とサポートシステム					精神科看護師 (8 時間)
3 回	せん妄 1)加齢による疾患の特徴と要因 2)症状と生活への影響のアセスメント 3)予防、治療と援助					
4 回	うつ病 1)加齢による疾患の特徴と要因 2)症状と生活への影響のアセスメント 3)予防、治療と援助					
5 回	パーキンソン病・パーキンソン症候群 1)加齢による疾患の特徴と要因 2)症状と生活への影響のアセスメント 3)予防、治療と援助					
6 回	視覚障害 1)加齢による病態と要因 2)視覚障害と生活への影響のアセスメント 3)予防、治療と援助					看護師① (10 時間)
7 回	聴覚障害 1)加齢による病態と要因 2)聴覚障害の程度と生活への影響とアセスメント 3)予防と援助					
8 回	入院治療と受ける高齢者の看護 1)治療を担う医療施設の状況 2)入院に伴う環境の変化と高齢者への影響 3)入院時の高齢者への援助と家族への配慮 4)チーム医療 5)高齢者に対する退院調整・退院支援					
9～ 10 回	エンドオブライフケア 1)身体特徴のアセスメント援助 2)苦痛の緩和と安楽への援助 3)精神的苦痛や混乱に対する援助 4)臨死期の評価と援助 5)家族の参加と家族への援助 6)グリーフケア					
11 回	検査を受ける高齢者の看護 1)高齢者が受けることが多い検査 2)検査を受ける高齢者への援助					看護師② (10 時間)
12 回	薬物療法を受ける高齢者の看護 1)加齢に伴う薬物有害事象 2)服薬管理とリスクマネジメント 3)薬物療法における援助					
13～ 14 回	手術療法を受ける高齢者の看護 1)手術を受ける高齢者の特徴 2)術前・術後の看護マネジメント 3)高齢者に起こりやすい術後合併症の予防と援助					
15 回	リハビリテーションを受ける高齢者の看護 1)リハビリテーションを必要とする高齢者 2)経過別リハビリテーション(急性期・回復期・維持期・終末期)					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験 (100%) 摂食・嚥下障害看護認定看護師(10%)、精神科看護師(30%)、看護師①(30%)、 看護師②(30%)を総合して評価する					
教科書	摂食・嚥下障害看護認定看護師： 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 精神科看護師：系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 看護師①：系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑬ 眼 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉 医学書院 看護師②：系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院					
備考	事前に教科書を読んでおき、授業で学習した内容の理解の促進と知識の定着のために主体的に学習に取り組むこと。授業に関わる確認テストを行なうこともあるため、テキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深めておくこと。					